

ご挨拶 「人間到る処青山あり」 ミニコミ誌第14号発行に寄せて

代表理事 内田芳勲

日頃の当会へのご支援に厚く御礼を申し上げます。今秋もミニコミ誌の発行を誠に喜ばしく存じます。さて、13年前、定年時の心境は「今日からは我が『青山』に登ろう」だった。会社時代のしがらみを絶って別の世界での交わりをと、NPO法人：「コミュニティ NET ひたち」の設立に参画。紆余曲折もあったが12年が経った。会員数約130名。シニアが生き甲斐を追及しつつ、経験やノウハウを活かして、IT関連を主体に街作り、社会形成に参画している。市町村のパソコン講座を受託して市民のデジタルデバインド解消に努めながら、一方では会員各々がパソコン講座、交流会、趣味の会等、群れて楽しんでいる。パソコンを通じて大きな輪が広がり、パソコンを学ぶ喜びの声や笑顔が届くと、地域の「パソコンや機械に強くない人」の味方であり続けたいと思う。定年後、新しい仲間恵まれ、生き生きと活動するシニアやレディースの笑顔、笑い声の絶えぬ受講者とのやり取り、いつも骨惜しみしない理事、監事さんとの協働等々、毎日が喜びと感謝の日々である。これが13年前に目指した我が「青山」なのだろう。やはり到る処に「青山」はあった。

理事・監事

「自分史づくり」に挑戦する会員 久保 裕

昨年の5月から多賀図書館で「ワードで本を作る会」というパソコン教室を始めた。今まで3人が教室に通われて、Iさんは今年の6月に立派な『私の回顧録』を纏められた。Sさんは原稿が完成する前に急逝されてしまった。Tさんはご主人を亡くされ、沢山の写真、俳句や文章がPCの中に遺されていて、これをご自身で本に纏めたいとPCはほとんど使ったことのない方でしたが教室に通って来られた。

「Word2010の基礎」テキストを修了してから、ご主人の好きな花の名前を題名に『ブルーポピー 回顧録』約150頁の本の原稿をほぼ纏められた。皆さんもぜひ親や自分の記録を整理して、元気なうちにPCで「自作の本づくり」に挑戦してください。

“老人力”を上手に使う！ 星川 雄

物忘れや体力の低下など高齢化することで陥る状態を、老人にしかできない力（マイナスの力）と解釈して、それを素直に受け入れて肩の力を抜いて生きることを“老人力”と言う考え方が有るそうです。私も最近“もの忘れの機会？”が多くなり、“老人力”が付いてきたかな？”と思う今日この頃ですが、これからの高齢化社会の時代には、“老人力”を上手に使うことも大事ではと思います。

Cnetの皆さんと群れて楽しみながら、少しでも会員の皆さんや地域の皆さんのお役に立てることを、出来るだけ長く続けて行きたいと思って居ます。たとえ物忘れが多くなっても、頭を高く上げて“80歳であろうと青春の中！”の気持ちも大事かと。

事務局の改善 高橋 正

私が事務局に就任したのは平成14年7月。その後12年間内田代表の元で当会も大いに発展し、今年の10月で会員は129名になった。

この間代表の事務局への要望は一貫している。すなわち ①会員へのサービス向上 業務の先手管理 業務の合理化、省力化、そして 業務を事務局基準にしてドキュメント化することである。

今までは日々の業務に流されていましたが、幸い7月より高松新理事が事務局に加わり、事務局基準の作成に取り組んでもらっている。代表から「あれをやったか、これをやったか」とフォローされなくても先手管理できる事務局を目指したい。会員のみなさんのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

パソコン生活を楽しみましょう 宮垣 久典

デジカメ写真をパソコンで見る。バス時刻表を作る。町内の回覧や決算書を作る。家計簿を書く。インターネットを見る。メールで写真を送る。お店の宣伝ポスターを作る。ホームページで郷里の紹介をする。年賀状を出す。パソコンでラジオを聴く。好きな音楽をCDにして聞く等々。自分なりのものに取り組むことで自信が付き、つまずいてもそれがまた経験となって生きて来ます。ですから、今パソコンが出来ないからといって悩むことはありません。パソコンの先生や経験者にパソコンの買い方から学習方法、パソコンでやってみたいことなど気軽にご相談下さい。始めること、続けることできっと新しい発見が生まれ、新しい楽しみが出来ると思います。

デジタルデータの危うさ 佐藤紀子

まさか二台続けて壊れることはあるまいと高をくくっていました。大事なデータを二重で保存している外付けHDDの事です。ところが先日、そのまさかの事態が起きました。さらにBlu-ray Diskにバックアップを取ってあったのは不幸中の幸いで、それがなかったら、10数年間の写真やデータが全て消えてしまうところでした。Yahooでも最近サーバーのシステム障害が発生し、一部ユーザーのデータが消失したとも聞きました。クラウドも絶対安全とはいき切れないようです。デジタルデータは一瞬にして消失する可能性があることを常に頭に置きながら、そうだわ、あの写真は、あのデータは、印刷しておきましょう、とも思い直しています。

脳の活性化について 宮原 養治侶

最近物忘れ、落し物が増えてきた、以前はこんなことは考えられなかったがそういう年齢になってきたかと思う。それでもこれらを最小限にするにはと脳の活性化に思案を巡らすこのごろである。心がけていることはまずメモをとること、左手指を使う、新しいことに挑戦する、課題を持ちその解決策を考える、運動で汗を流す、パソコンの活用法、簡単な操作方法、わかりやすいパソコン講座の仕方を考えるなどである。そして考えついたことで他の人にも役に立ちそうなことは積極的に伝えるようにしている。特にパソコンは脳の活性化、趣味への活用など使い方次第では大変便利なツールなので多いに活用すべきものだと思っている。

ふと見かけたIT技術の進化 金谷 俊治

50年ほど前、私が社会人になった頃、スパイもののテレビドラマ「0011 ナポレオン・ソロ」がブームになっていた。国際機関アングルのエージェントであるソロとイリヤが活躍する物語。彼らはお互いの連絡に万年筆通信機を用いていた。『そんなバカな！しかしこんな物があるといいな』といたく感動したことを覚えている。そして今、スマホあり、腕時計型端末やメガネ型端末あり、しかも映像付きで。ITを含む技術の進展はとどまるところを知らない。私たちは、Cnetでパソコンを通じてITに関連する仕事をしている。ハード技術に遅れを取らないように、いや先進を走るのだという意気込みをもってアプリケーション技術の習得に努めて参りたい。

私の墓じまい 大島 興洋
身にしむや 故郷遠く 墓じまひ

俳句同好会の10月句会で先生の選に入り会員からも共感を得た句である。
私の家の墓は青森県十和田市に有る。兄妹で私だけが男であり、年齢を重ね動きが悪く墓参りも少なくなってきたおり墓をどうしようか考えていた。
私の長女は東京、長男は埼玉県に住んでいる。どちらも青森は遠くで行けそうにないと言っている。
幸い長男に息子が二人おり墓守をしても良いとのこと埼玉に墓を作ることにした。
改葬について菩提寺との相談、市への改葬許可申請などを行いこの9月・10月で墓の閉眼供養、新墓への納骨を終え一安心したところである。

オーディオとデジタル化 高松 良一

私は高校生の時から自作のアンプを作ったりするオーディオ・マニアでした。そのオーディオの世界もCDの出現をはじめとしてデジタル化され、雑音の無いクリアーな音と取り扱い易さに驚いたものです。一時はDAT(デジタル・オーディオ・テープ)に有料のCS放送のデジタルラジオを録音した。また、USBでPCへそのデータを取り込み、CDを作ったり、デジタルウォークマンに録音したり、今では主にUSBからカーステレオで楽しんでおります。さらに映像も一緒に楽しむため、DVD、今はブルーレイ・ディスクで音楽番組を録画し楽しんでいます。



<http://www.hitachi-museum.com/>

会員からのメッセージ

パソコン技術で社会貢献 白石 陽一

PC技術は、定期講座に入門して俄然進歩しました。PCを楽しむ会、技術交流会、iPad勉強会なども皆勤です。機器もデスクトップからノートへ、更にKindle FireやiPadのタブレットへ。その活用術もオフィスから始り、各種ソフト・アプリの活用、写真・動画編集とCD・DVDの自作から、メール、インターネットとブログやフェイスブック、クラウド活用術・YouTube活用術など猛スピードで進行しました。私のPC習得の目的はシニアの社会貢献ツールとして活用することにあります。進歩に遅れず！

高齢者こそパソコン活用を 平田 邦彦

長年、広い年代の人を対象に講師をしてきが、先般、体調不良で辞退した。今、自身の生活で、起床から就寝まで、天候・菜園・予定・資料・資産・リフォーム計画などの情報入手・データ整理に、パソコンを使い、家族にも感謝されている。Cnetの講師の時には、受講生の皆さんに受講の成果を各人の生活に生かして、受講料分の成果を上げてほしいと言ってきたことが正かったと実感している。エクセルでデータ処理法については伝えきれなかったことが反省として残っている。今後講師諸氏に期待したい。

eメールに思う

月岡 秀夫

コミュニケーションを図るにPCの活用は重要だ。特にメールは受発信が簡単にして気軽に使い最も利便性の高いツールです。それ故手軽に処理してしまい要件のみの情味のない対応であっては少々寂しく思います。会社生活での「事務的交流」能率本位の感覚をリタイアして尚続ける必要はあるでしょうか。

手紙などと異なり挨拶文は無くても気にされず差し支えないでしょうが人の輪(和)相手を思いそれなりの時候や近状の挨拶は無駄と思わず、お互いを気遣い余裕ある親密なコミュニケーションを育みたい。

パソコン

広田 和子

PCの修理がご縁でCnetに出会いました。PCは、ヨチヨチ歩きだった私を、内田代表は小学校支援のサポートに誘って下さいました。それから猛勉強(?)...

今は県北のPC講習会のサポートやPCを楽しむ会などを楽しませて頂き、女性同士の繋がりも出来ました。あの時のお誘いがなかったら、どうしていたかなあ~なんて...。今ではPCは無くてもならないもの。

昨今はスマホやタブレット等と進化が速いです。PCも来年はWindows10が発売とか、追いついていかなば...(汗)

タブレットを旅の友に

百地 康

最近いろいろな催しにタブレットを持ち歩くようになった。これは昨年12月にCnetの教室での「iPadを楽しく始める会」でタブレットの話聞いたことから始まった。ただ自分の場合、Wi-Fi信号のない場所での活動が多くiPadの購入に思案していた時、自宅近くにオープンした店でLTE機能付きのタブレットを売り出したのを見て、購入した。

2013年12月に始めたジオパークの活動では、Facebookでの情報交換がありタブレットで写真を撮り、FacebookとGmailを使って楽しんでいます。

仲間と俳句を詠む

石井仁志

昨年誘われてCnetに再入会をしました。最初も活動に顔を出しませんでした。懇親会の席上で、俳句の会に誘われて8月から句会に皆勤しています。月1回の句会のためにたくさん作るようになりました。

句会で仲間と句を語り合う楽しさを知りました。

人送り消滅都市は晩夏なり この句は日立市民なら分かるはずだと、出稿しました。評点は取れませんが、この句会でしか出稿出来ない句です。今後とも仲間と技量を上げ、住んでいる日立市の未来を考えて行きます。

行きませんか？撮影旅行に

宇梶 秀夫

1台のバスに乗って景色の良い所に行く、春と秋の2回、デジタル写真同好会の最近の通例になりました。今年の春は6/26、福島県南会津の「高清水自然公園と駒止湿原」でした。高清水自然公園はヒメサユリの群生地、花はほぼ満開の時でした。木道の両側にロープが張られ、カメラマンばかりでなく、一般の観光客も多く楽しんでいました。ヒメサユリは、山形・福島・新潟の県境周辺の限られたところしかなく小さく美しいユリです。11/6は「蛇の鼻遊楽園と二本松霞ヶ城」で撮影会を楽しみにしています。

撮影会に参加して

小杉 悦子

デジカメ同好会の撮影会に何度か参加させていただいています。いつも楽しい企画を立てていただき、普段自分ではなかなか行けない所で素晴らしい景色を見ることが出来、毎回感動しております。撮影に関してはあまり熱心ではないので申し訳ないのですが。

春の花々、秋の紅葉、雨の日もありましたが、それはそれで、雨上りの葉の色や滴もとっても綺麗で、別の発見があり楽しめました。今年の秋はずっと行ってみたかった福島県の「蛇の鼻遊楽園」。どんな紅葉が見られるか楽しみです。

光陰矢のごとし

大森共子

この秋で入会10年目に入りました。よくぞ続いたものと我ながら感心しております。今やパソコンは生活の一部です。それだけの魅力があったのです。会を知らなかったらパソコンは諦めていたことでしょう。僅かなチャンスを掴みました。

Cnetは私の心身を活性化してくれました。技術のみならず、多くの方々との出会いと交流もその一端です。多くの事を学びました。「幾つになっても好奇心さえ失わなければ、新鮮な感動に出会う」児童文学者の神沢利子の言葉を今かみしめております。

心に残る言葉を

石川一博

最近私のお店で輸入業者と卸屋からの仕入れコストの話になりました。中学校の頃、社会の授業にあった生産者、一次問屋、二次問屋の話、何処から仕入れると安いのかの話です。店員はそういう経営面の話や、人としての生き方など大切な話をいろいろ教えて欲しいと云うのです。

今の若い人の知らない事を、人生経験豊富な私達高齢者はメッセージあるいは遺言として、そろそろ準備する時期になって居ります。若い人が人生の岐路に立ったとき役に立つ羅針盤のような情報・キーワードを伝授できたらいいな、と思う今日この頃です。



人がつながる Cnet 大和田かおる

Cnet にはパソコン教室の他に会員の交流の場がたくさんあります。私はその中の「パソコンを楽しむ会」(なでしこ)のメンバーで、毎回参加者の皆さんとの交流を楽しみにしています。昨年「豆本作成」を提案し講師を担当。その後、受講された方がそれぞれにアレンジした素敵な豆本を作成して下さいととても感激しました。講座から1年半が過ぎましたが、今でも豆本を活用して下さいとされていることに皆さんとのつながりを感じます。
「笑顔で人がつながる Cnet」ですね！！



Cnet で人気の「豆本」

PC 教室の講師になって 小澤正明

Cnet で講師となって2年が過ぎました。特に県北では延べ5講座を担当し、多くの受講生と接してきました。その大半は私より年配の方々と思われまます。その方々が必死になってテキストを片手にPCの画面を見つめ、聞きなれない用語を理解しようとしている姿に敬服するところです。そのような姿を見て、いい加減な説明はできないと感じ、さらにもっとわかりやすい説明を心がけねばと思っています。その様な方々にパワーをもらい、私の硬くなった脳に鞭を打って更なる向上を目指していきたいと思う。

旅と一期一会 衣鳩 新一

黄葉や紅葉で山野が染まる季節に絶景を求めて旅をすると、観光地はスキーシーズン前の休業期に当たり、多くのレストランやホテルが閉まっていて、閑散としている。予約したホテルでは、スタッフを何とか招集して対応したように感じられ、サービスに不行届きが多く、何でこの季節にという思いを感じてしまう。何故日本人は落葉という物の終焉に興味を持ち愛でるのが、よく分らないと耳にする。
後日、正午の茶事を経験する機会に恵まれ、一期一会の心得に触れ、出会いの大切さを痛感した。

創流百周年吟剣詩舞道大会 野崎和子

去る7月6日茨城県県立県民文化センターに県内外の来賓を招いて開催しました。この道の先人たち、つまり四代の宗家が引き継いで一世紀になり、会員共々伝統ある流派を護り続けて行くべく決意を新たにしました。Cnet の教室で学んだノウハウを生かして挨拶文など文章作りに役立たせ、マウスさばきも滑らかになり、益々パソコンにハマっています。
毎日が忙しく教科書の予習をする余裕がありませんが事前勉強をして授業に臨みたいと思います。目標はオリンピックまで頑張るが合言葉です。

楽しいPC教室 澤畠 智恵子

Windows-XP から7に変えたとき、スムーズに移れず困ってしまいCnet に入会しました。ご指導いただいたお蔭で、いろいろな作品を作れるようになりました。豆本や一筆箋やサークルの「ちらし」などを作って配布して楽しんでます。また、遠く離れた親戚や友人にメールで写真を送信して近況を知らせて喜ばれています。エクセルも活用して書類の管理も出来ています。なんと便利なのでしょう！また、ティータイムも先生を囲んで、皆さん意気投合していい雰囲気でお話も弾んでいます。

iPad を楽しもう 瀬谷 繁子

Cnet の代表が iPad を楽しんでいるのを見て頭の老化を少しでも遅らせようと、iPad の勉強会に参加しました。星川先生、金谷先生の指導のもと、9人の老若男女で楽しく苦勞しながら頑張っています。iPad は奥が深く、一歩進んでは二歩も三歩も後退してしまい中々先に進めませんが、これからも先生方や仲間の皆さんに助けをもらいながら楽しく、細く、長く、ゆっくり続けて行きたいと思ひます。
Cnet の皆様これからも宜しくお願い致します。

年賀状 大沼 勝

私は、今まで年賀状を作る時、毎年ソフトを買って作っていました。去年 Cnet に入会して、年賀状の作り方を高橋先生に教わりました。生まれて初めて写真の年賀状、それも自分の趣味の零戦(埼玉県所沢で撮ってきたもの)を基にしたものでしたので、大変感激しました。これも Cnet (高橋先生)のおかげと感謝しております。来年の年賀状は今年、初孫が誕生しましたので、孫と一緒に写真で作りたいと思ひますので、よろしくお願ひします。有難うございました。

